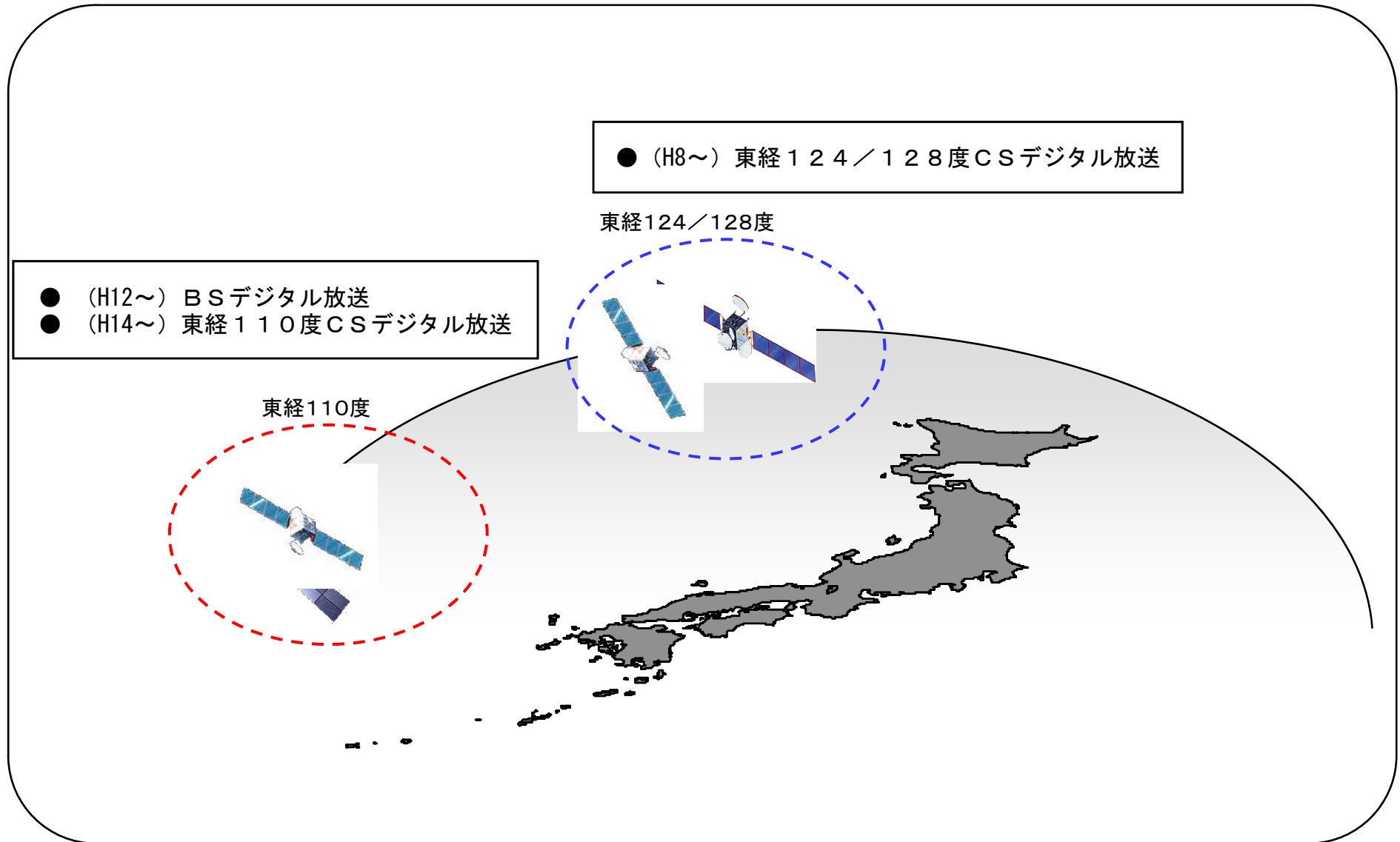


通信・放送の総合的な法体系におけるコンテンツ規律

～衛星放送分野を検討の素材に～

平成21年4月2日

我が国の主な衛星デジタル放送



(平成21年2月末現在)

衛星放送のメディアとしての特性

広域性・経済性

一つの送信点から一波で全国をカバーすることにより経済的、効率的に全国放送を実現することが可能であり、離島等における難視聴解消にも適していること。

大容量性・高品質性

広帯域の伝送路を設定し、数多くの高画質番組を同時に提供することが可能であり、かつ、視聴者の数がどれほど増えても、それによって品質の劣化が生じないこと。

難視聴解消目的放送（地域間情報格差是正）
高精細度テレビジョン放送
有料専門多チャンネル放送
など

（参考）衛星放送の普及率は、地上放送のチャンネル数が少ない地域ほど高い傾向。

地上放送のチャンネル数 (民放テレビジョン放送)	都道府県の数	うち衛星放送の普及率(注)が全国平均を上回っている都道府県の数
5波以上の都道府県	20	3
3波以下の都道府県	14	11

注：NHKの受信契約に占める衛星契約の比率（平成20年3月末現在）

BS放送のチャンネル配列図

BSデジタル放送については、現在、5周波数を使用して、12番組のテレビジョン放送が放送されているところ。平成19年7月の電波監理審議会答申を受け、平成23年以降、BSデジタル放送のために新たに7周波数（以下網掛け部分）を使用することが決定されたところ。

1ch		3ch		13ch		15ch		
⑤ BS 朝日 【テレビ朝日系】	⑥ BS-i 【TBS系】	⑨ WOWOW	⑦ BS ジャパン 【テレビ東京系】	④ BS 日本 【日本テレビ系】	⑧ BS フジ 【フジテレビ系】	① NHK -BS1	② NHK -BS2	③ NHK-hi
HD (総合)	HD (総合)	HD (総合)	有料 HD (総合)	HD (総合)	HD (総合)	(総合)	※	HD (総合)

※難視聴解消を目的とする放送

5ch		7ch		9ch		11ch	
アナログ (WOWOW) <注1>		アナログ (NHK-BS1) <注1>		⑪ 日本 BS 放送	⑩ スター・ チャンネル	⑫ ワールド・ハピ ジョン・チャンネル	アナログ (NHK-BS2) <注1>
有料				HD (総合)	HD 有料	HD (総合)	

17ch		19ch		21ch		23ch	
未使用 <注2>		未使用 <注2>		未使用 <注2>		未使用 <注2>	

地上デジタル放送の衛星利用による
難視聴地域対策のために使用予定

携帯電話システム等との
電波干渉問題が発生

注1: 現在BSアナログ放送のために使用されている3周波数(5、7、11ch)については、同放送を平成23年までに終了することとし、平成23年以降はこれらの3周波数をBSデジタル放送のために使用することとするが、平成19年7月の電波監理審議会答申等を受け、決定されている。

注2: 我が国は、国際調整手続を経て、平成12年にBS放送用周波数として新たに4周波数(17、19、21、23ch)の割り当てを受けたところ、平成23年以降、これらの4周波数をBSデジタル放送のために使用することが、平成19年7月の電波監理審議会答申を受け、決定されている。

東経110度CSデジタル放送の番組一覧

(平成21年2月1日現在)

映画 (9番組)

- Ch. 221 東映チャンネル
- Ch. 222 衛星劇場
- Ch. 223 チャンネルNECO
- Ch. 224 洋画★シネフィル・イマジカ
- Ch. 228 ザ・シネマ
- Ch. 237 スター・チャンネル プラス
- Ch. 238 スター・チャンネル クラシック
- Ch. 239 日本映画専門チャンネルHD **HD**
- Ch. 240 ムービープラスHD **HD**

スポーツ (13番組)

- Ch. 251 J sports 1
- Ch. 252 J sports 2
- Ch. 253 J sports Plus(ライブジョン) **HD**
- Ch. 254 GAORA
- Ch. 255 スカイ・A sports+
- Ch. 256 J sports ESPN
- Ch. 257 日テレG+
- Ch. 258 フジテレビ739
- Ch. 260 ザ・ゴルフ・チャンネル
- Ch. 262 ゴルフネットワーク
- Ch. 801 スカチャン801
- Ch. 802 スカチャン802
- Ch. 803 スカチャン803

娯楽・趣味 (1番組)

- Ch. 361 ジャスト・アイ インフォメーション

音楽 (6番組)

- Ch. 320 安らぎの音楽と風景/エコミュージックTV
- Ch. 321 Music Japan TV
- Ch. 322 スペースシャワーTV
- Ch. 323 MTV
- Ch. 324 大人の音楽専門TV◆ミュージック・エア
- Ch. 325 MUSIC ON! TV

アニメ (5番組)

- Ch. 330 キッズステーション
- Ch. 331 カートゥーン ネットワーク
- Ch. 332 アニマックス
- Ch. 333 アニメシアターX (AT-X)
- Ch. 334 トゥーン・ディズニー

総合エンターテイメント (9番組)

- Ch. 300 日テレプラス
- Ch. 301 TBSチャンネル
- Ch. 302 フジテレビ721
- Ch. 303 テレ朝チャンネル
- Ch. 304 ディズニー・チャンネル
- Ch. 305 チャンネル銀河
- Ch. 306 フジテレビCSHD **HD**
- Ch. 800 スカチャンHD800 **HD**
- Ch. 804 スカチャン804

ガイド (5番組)

- Ch. 100 e2プロモ
- Ch. 101 TAKARAZUKA SKY STAGE (プロモチャンネル)
- Ch. 110 ワンテンポータル
- Ch. 147 CS日本番組ガイド
- Ch. 160 C-TBSウェルカムチャンネル

海外ドラマ・バラエティ (4番組)

- Ch. 310 スーパー! ドラマTV
- Ch. 311 AXN
- Ch. 312 FOX
- Ch. 314 LaLa HD **HD**

国内ドラマ・バラエティ・舞台 (5番組)

- Ch. 194 インターローカルTV
- Ch. 290 TAKARAZUKA SKY STAGE
- Ch. 291 fashiontv
- Ch. 292 時代劇専門チャンネル
- Ch. 293 ファミリー劇場

ドキュメンタリー (4番組)

- Ch. 340 ディスカバリーチャンネル
- Ch. 341 アニマルプラネット
- Ch. 342 ヒストリーチャンネル
- Ch. 343 ナショナル ジオグラフィック チャンネル

ニュース (5番組)

- Ch. 350 日テレNEWS24
- Ch. 351 TBSニュースバード
- Ch. 352 朝日ニュースター
- Ch. 353 BBC ワールドニュース
- Ch. 354 CNNj

ショッピング (3番組)

- Ch. 055 ショップチャンネル **HD**
- Ch. 161 QVC(キュー・ヴィー・シー)
- Ch. 185 プライム365.TV

全12中継器 テレビ69番組

〈スカパーJ S A T株式会社のホームページ等から作成〉

東経124/8度CSデジタル放送の番組一覧

(平成21年2月1日現在)

PPV (30番組)
 Ch.100 ~103 パワーブラッツ
 Ch.110~115 パーフェクト チョイス110~115
 Ch.135 V シアター135
 Ch.136 CINEMA-R
 Ch.139 パーフェクト チョイス139
 Ch.160~162 スカチャン160~162
 Ch.171~174 スカチャン171~174
 Ch.176~177 スカチャン176~177
 Ch.179~186 スカチャン179~186

映画 (14番組)
 Ch.260 洋画★シネフィル・イマジカ
 Ch.261 チャンネルNECO
 Ch.310 衛星劇場
 Ch.312 ムービープラス
 Ch.315 スター・チャンネル
 Ch.316 スター・チャンネル プラス
 Ch.317 スター・チャンネル クラシック
 Ch.318 FOXムービー★SF&ホラー
 Ch.319 V☆パラダイス
 Ch.706 ザ・シネマ
 Ch.707 日本映画専門チャンネル
 Ch.708 東映チャンネル
 Ch.709 エキサイティング・グランプリ
 Ch.785 MATV ムービーアジア

スポーツ (12番組)
 Ch.282 E Xスポーツ
 Ch.285 スカイ・A sports +
 Ch.286 ザ・ゴルフ・チャンネル
 Ch.300 J sports ESPN
 Ch.301 FIGHTING TV サムライ
 Ch.302 GAORA
 Ch.303 ゴルフネットワーク
 Ch.306 J sports 1
 Ch.307 J sports 2
 Ch.308 J sports Plus
 Ch.309 日テレG+
 Ch.739 フジテレビ739

音楽 (テレビ11番組、ラジオ100番組)
 Ch.265 スペースシャワーTV
 Ch.266 歌謡ポップスチャンネル
 Ch.267 第一興商スターカラオケ
 Ch.268 あらぎの音楽と風景/エコミュージックTV
 Ch.269 Music Japan TV
 Ch.270 MTV
 Ch.271 大人の音楽専門TV◆ミュージック・エア
 Ch.731 MUSIC ON! TV
 Ch.732 ミュージックビデオ専門/VMC
 Ch.736 クラシカ・ジャパン
 Ch.795 懐かし音楽★グラフィティTV/keiba
 Ch.400~499 スターデジオ(100ch音楽ラジオ)

アニメ (6番組)
 Ch.274 カートゥーン ネットワーク
 Ch.276 キッズステーション
 Ch.724 アニマックス
 Ch.729 アニメシアターX(AT-X)
 Ch.746 トゥーン・ディズニー
 Ch.751 ニコロデオン/アニメ・子どもTV

総合エンターテイメント (8番組)
 Ch.278 日テレプラス
 Ch.330 WOWOW
 Ch.363 TBSチャンネル
 Ch.717 テレ朝チャンネル
 Ch.720 シーエスGyaO
 Ch.721 フジテレビ721
 Ch.726 関西テレビ☆京都チャンネル
 Ch.730 ディズニー・チャンネル

海外ドラマ・バラエティ・韓流 (13番組)
 Ch.283 FOXライブ
 Ch.331 KNテレビジョン
 Ch.360 スーパー! ドラマTV
 Ch.372 LaLa TV
 Ch.722 FOX
 Ch.723 サスペンスシアター FOX CRIME
 Ch.725 AXN
 Ch.728 ミステリチャンネル
 Ch.749 アジアドラマチックTV★So-net
 Ch.755 SCI FI (サイファイチャンネル)
 Ch.765 fashiontv
 Ch.791 KBS World
 Ch.792 Mnet

国内ドラマ・バラエティ・舞台 (8番組)
 Ch.262 シアター・テレビジョン
 Ch.275 EXエンタテイメント
 Ch.279 MONDO21
 Ch.325 歌舞伎チャンネル
 Ch.361 ファミリー劇場
 Ch.362 ホームドラマチャンネル
 Ch.371 エンタ!371
 Ch.718 時代劇専門チャンネル

ドキュメンタリー (4番組)
 Ch.321 ディスカバリーチャンネル
 Ch.370 ヒストリーチャンネル
 Ch.741 ナショナル ジオグラフィック チャンネル
 Ch.747 アニマルプラネット

ニュース・ビジネス経済 (12番組)
 Ch.250 ブルームバーグ テレビジョン
 Ch.251 日経 CNBC
 Ch.252 BBC ワールドニュース
 Ch.254 e-天気.net
 Ch.255 交通情報アクセス plus 天気
 Ch.256 朝日ニュースター
 Ch.257 CNN j
 Ch.258 TBSニュースバード
 Ch.742 Bloomberg Television[英語版]
 Ch.745 日テレNEWS 24
 Ch.757 ビジネス・ブレイクスルー
 Ch.766 ダイワ・証券情報TV

娯楽・趣味 (9番組)
 Ch.216 ベターライフチャンネル
 Ch.218 ビクトリーチャンネル
 Ch.277 旅チャンネル
 Ch.280 大人の趣味と生活向上◆アクトオンTV
 Ch.281 食と旅のフォーティーズTV
 Ch.320 囲碁・将棋チャンネル
 Ch.753 釣りビジョン
 Ch.759 パチンコ★パチスロTV!
 Ch.777 パチ・スロサイトセブンTV

教育・資格 (テレビ7番組、ラジオ1番組)
 Ch.205 放送大学CSテレビ
 Ch.248 ベネッセチャンネル
 Ch.340 InstrucTV
 Ch.343 Baby TV こどもえいごチャンネル
 Ch.500 放送大学CSラジオ
 Ch.762 GROWTH&EDUCATION
 Ch.772 ケアネットTV・メディカルCh.
 Ch.774 医療福祉チャンネル774

公営競技 (15番組)
 Ch.120 南関東地方競馬チャンネル
 Ch.380~384 レジャーチャンネル1~5
 Ch.385 JLCプラスワン
 Ch.388~389 グリーンチャンネル.2
 Ch.390~394 (ケイリフイブ) SPEED チャンネル
 Ch.395 スピードプラスワン395

外国語放送 (6番組)
 Ch.333 RECORDインターナショナル
 Ch.334 TVグローボ・インターナショナル
 Ch.781 チャンネル中国
 Ch.782 TVB大富
 Ch.783 CCTV大富
 Ch.784 風風衛視

ショッピング (8番組)
 Ch.217 セレクトショッピング Ch.217
 Ch.220 ショップチャンネル
 Ch.221 MALL OF TV
 Ch.222 QVC (キュー・ヴィー・シー)
 Ch.224 ジョイショップ224
 Ch.240 Shop 240
 Ch.242 ジャパネットスタジアム242
 Ch.243 ジュエリーショッピング★GemsTV

アダルト (27番組)
 Ch.100~103 パワーブラッツ (PPVと重複)
 Ch.110~115 パーフェクト チョイス (PPVと重複)
 Ch.136 CINEMA-R (PPVと重複)
 Ch.900 プレイボーイチャンネル
 Ch.901 レインボーチャンネル
 Ch.902 ミッドナイト・ブルー
 Ch.903 フラミンゴ903
 Ch.904 チャンネル・ルビー
 Ch.905 ブルーチェリー (チェリーボム)
 Ch.906 みるく906
 Ch.907 Splash
 Ch.910 ZapTV
 Ch.911 Queen Bee
 Ch.912 まんぞくチャンネル
 Ch.913 パラダイステレビ
 Ch.914 ピンクチェリー (チェリーボム)
 Ch.915 イエローチェリー (チェリーボム)
 Ch.916 ダイナマイトTV
 Ch.917 AV王

番組案内 (2番組)
 Ch.200 スカパー!プロモ
 Ch.202 スカパー!イノベーションチャンネル

**【平成20年10月1日開始】
HD番組 (15番組)**
 Ch.138 パーフェクトチョイスHD138
 Ch.190~192 スカチャンHD190~192
 Ch.626 スター・チャンネル ハイビジョン
 Ch.628 衛星劇場HD
 Ch.632 ムービープラスHD
 Ch.634 日本映画専門チャンネルHD
 Ch.605 J sports Plus (ハイビジョン)
 Ch.613 フジテレビCSHD
 Ch.616 TBSチャンネルHD
 Ch.617 テレ朝チャンネルHD
 Ch.651 FOX HD
 Ch.948 アダルトHDレッド
 Ch.949 アダルトHDブルー

**全 35 中継器 テレビ 196 番組
ラジオ 101 番組**

〈スカパーJ S A T株式会社のホームページ等から作成〉

衛星放送をめぐる近年の環境変化

従 前

BSデジタル放送 (東経110度)

- ・ 放送衛星業務用の周波数を使用
- ・ 総合編成の高精細度テレビジョン放送中心
(5周波数12番組)

CSデジタル放送

(東経110度・東経124/8度)

- ・ 放送衛星業務用以外の周波数を使用
- ・ 標準画質の有料専門多チャンネル放送中心
(東経110度 : 12周波数69番組)
(東経124/8度 : 35周波数196番組)

近年の変化 (主なもの)

○BSデジタル放送と東経110度CSデジタル放送の受信環境の一体化

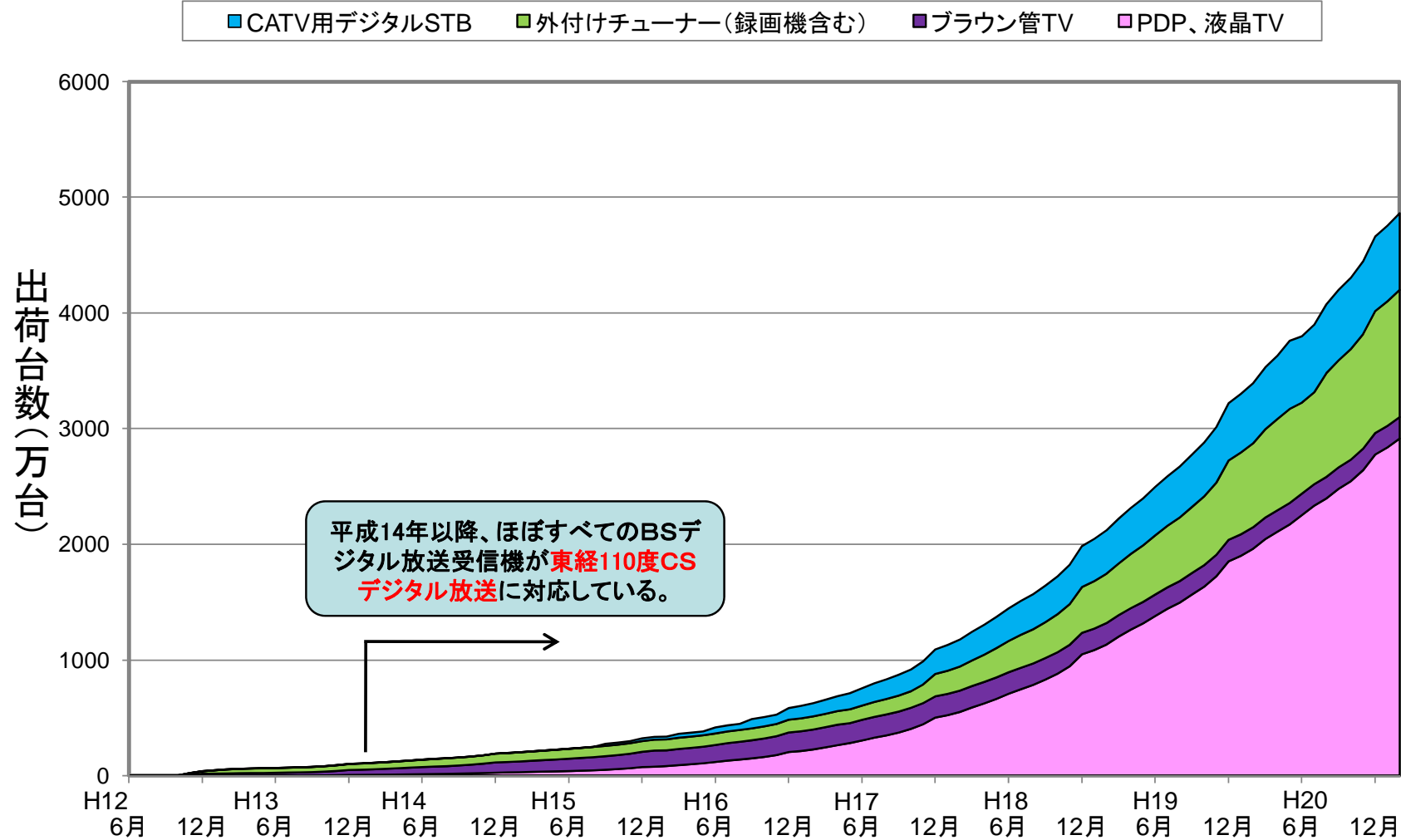
(BS/110度CS共用アンテナや、いわゆる三波共用受信機の急速な普及)

○平成23年以降、BSデジタル放送用周波数が大幅に増加(5周波数→12周波数)

デジタル対応受信機 累計出荷台数

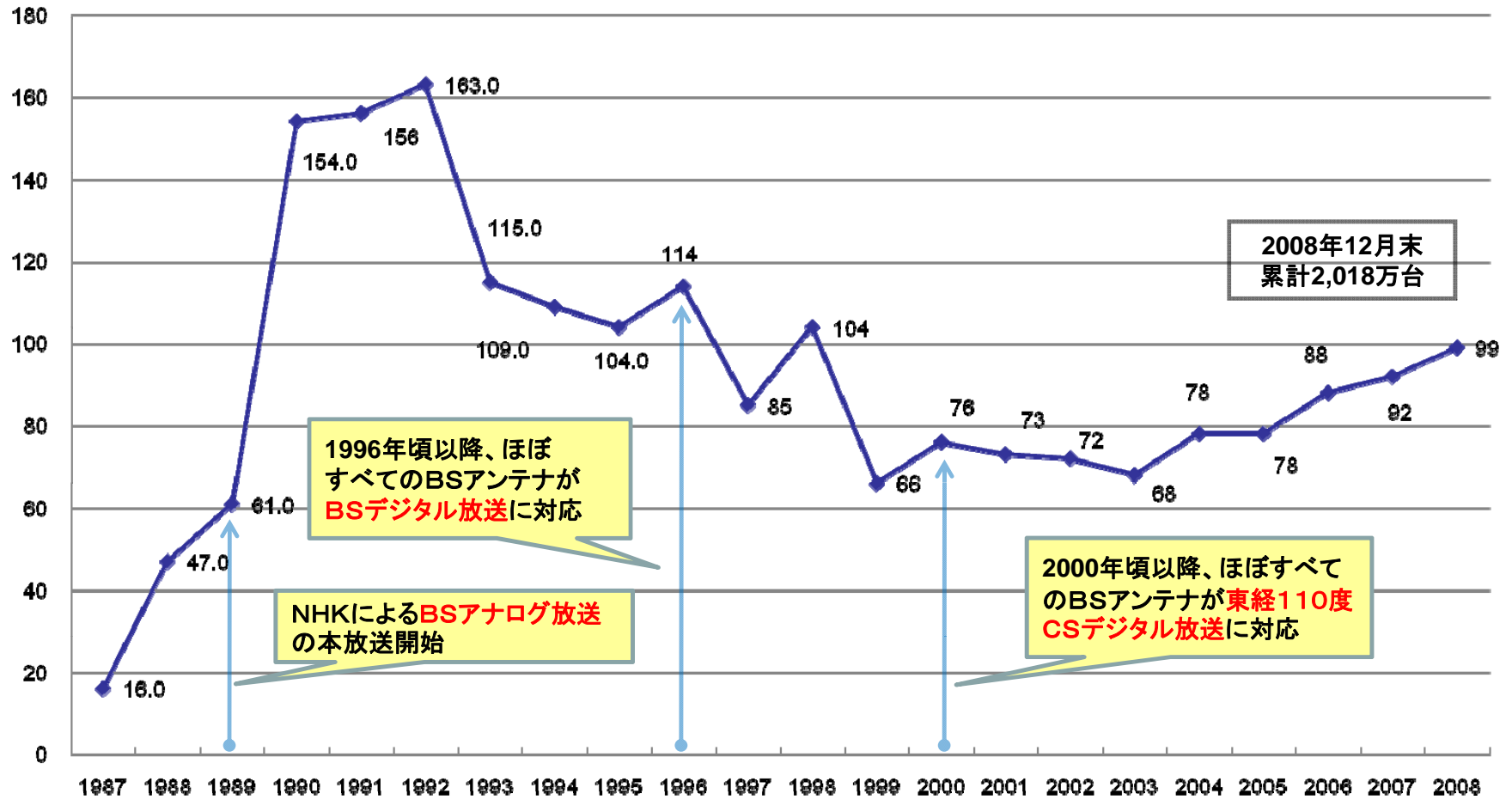
NHK調べ (http://www.nhk.or.jp/digital/spread/spread_satellite.htmlより)

BSデジタル放送受信機出荷台数累計 約4863万台 (平成21年2月末:速報値)



衛星アンテナ出荷台数

単位:万台



[JEITA民生用電子機器国内出荷データ(JEITAホームページ公表)より作成]

(暦年)

平成23年以降の新たなBSデジタル放送の開始に当たって 浮上した普及政策上の論点

現在
BSデジタル放送 5周波数



平成23年以降
BS・110度CS放送合計 24周波数

○幅広いジャンルの放送番組の確保

これまで、BSデジタル放送と東経110度CSデジタル放送は異なるメディアであるとの前提に立ち、BSデジタル放送全体として、又は東経110度CSデジタル放送全体として、それぞれ、幅広いジャンルの放送番組が確保されるよう配慮することとしてきたところであるが、BSデジタル放送と東経110度CSデジタル放送の受信環境が一体化してきているのであれば、両放送を併せた全体としてバランスが確保されていれば足りるのではないか。

○総合編成と専門編成

これまで、BSデジタル放送については、限られたチャンネル数の中で放送番組の多様性を確保する観点から、総合編成による放送を重視してきたところであるが、平成23年以降に開始される予定の新たなBSデジタル放送についてもこのような考え方を踏襲することは、必ずしも適当でないのではないか。
(BSデジタル放送と東経110度CSデジタル放送を併せた全体として幅広い分野の放送番組が確保されるのであれば、必ずしも、個々のチャンネルが総合編成である必要はないのではないか。)

○マスメディア集中排除原則

放送をすることができる機会をできるだけ多くの者に対し確保する観点から、これまで、BSデジタル放送については、一の者が支配することができる周波数を原則として0.5周波数以内に制限してきたところであるが、平成23年以降も引き続きこのような制限を維持することは、必ずしも適当でないのではないか。

特別衛星放送・一般衛星放送制度への移行 (平成21年2月総務省令等改正)

主な改正点

○特別衛星放送・一般衛星放送制度（総論）

近年のBS・東経110度CS共用アンテナや、いわゆる三波共用受信機の急速な普及に伴い、少なくとも受信環境の面においては、視聴者にとって、BS放送と東経110度CS放送との間には大きな差異がなくなりつつあることを踏まえ、BS放送及び東経110度CS放送を制度上「特別衛星放送」として統合し、その普及政策を一体化するとともに、それ以外の衛星放送を「一般衛星放送」として位置付け、更なる規制緩和を措置することとする。

○放送番組の多様化関係

これまで、BS放送全体として、又は東経110度CS放送全体として、それぞれ、幅広い分野の多様な放送番組が確保されるよう配慮することとしてきたところであるが、今後は、特別衛星放送全体として、幅広い分野の多様な放送番組が確保されるよう配慮することとする。

○マスメディア集中排除原則

これまで、放送をすることができる機会をできるだけ多くの者に対し確保する観点から、一の者が支配することができる周波数を、BSデジタル放送については原則として0.5周波数以内としてきたところであるが、今後は、特別衛星放送全体について、一の者が支配することができる周波数を原則として4周波数以内とすることとする。

併せて、一般衛星放送についても、一の者が支配することができる周波数を、従前の2倍程度（原則として現行12周波数以内→改正後24周波数以内）に緩和することとする。

衛星放送分野における今後の政策検討課題（例）

特別衛星放送：約2000万世帯に普及※1

一般衛星放送：約280万世帯に普及※2

※1：BS放送受信普及数（平成19年3月末現在 日本放送協会調べ） 約1985万件

※2：スカパー！個人契約件数（平成21年2月末現在 スカパーJ S A T株式会社調べ） 約277万件

1. 番組規律

一般衛星放送について、番組規律の一部（政党放送、宗教放送の取扱い等）を緩和することは適当か。

<備考>

○ なお、特別衛星放送の番組規律の在り方については、以下の観点をも踏まえつつ、より慎重な検討を行う必要があるのではないか。

- ・ 既に約4割の世帯に普及しており、三波共用受信機の普及に伴い、今後とも一般世帯への普及の拡大が見込まれていること。
- ・ 地上放送の難視聴解消を目的とするチャンネル、無料の総合編成によるチャンネル、有料の専門チャンネルなど様々な性格のチャンネルが混在している状況にあること。

衛星放送分野における今後の政策検討課題（例）

2. 事業形態の規律

現在、一般衛星放送では、原則としてハード・ソフト（HS）分離放送しか認められていないが、HS一致放送を認めることは適当か。

<備考>

- ① 仮に認めるのであれば、ハード事業者（衛星通信事業者）がいわゆるトランスポンダ使用料等について自社チャンネルを優遇するといった差別的な取扱いを防止できるようにする制度上の仕組みが必要ではないか。
- ② 仮に認めるとしても、現行の免許等の行政手続をセットで見直さなければ、規制緩和の実効性は十分なものとはならないのではないか。

注：現行制度を前提とすれば、例えばHS分離放送からHS一致放送に移行しようとすると、いったん電気通信役務利用放送法上の電気通信役務利用放送業務登録を廃止し、あらためて電波法上の無線局免許を取得し直す必要が生じる。

衛星放送分野における今後の政策検討課題（例）

3. 一定のメディアサービスを確保するための規律

一般衛星放送について、今後は計画的な普及を図る必要はないと考えることは適当か。

<備考>

○ 他方、既に約4割の世帯に普及しており、ソフト事業（委託放送業務）への参入希望者が多い特別衛星放送については、今後とも、放送普及基本計画に基づき数の目標（参入枠）を公示し、認定申請を公開で受け付け、比較審査を経て認定を行うこととする必要があるのではないか。

※ 衛星放送のハード事業が事実上独占・寡占状態にあることを併せて考慮すれば、特別衛星放送について、電気通信役務利用放送制度のように、ハード事業者とソフト事業者の相対取引により、公的な比較審査を経ずにソフト事業に参入できるようにすることとすると、番組編集の中立性や、国民の共有財産である周波数の利用の公平の観点から、望ましくない事態が発生するおそれはないか。

(参考) 特別衛星放送に係る比較審査基準 (放送法関係審査基準 別紙2 抜粋)

特別衛星放送を委託して行わせる委託放送業務に関し、**委託放送事業者に指定することのできる周波数が不足するとき**は、特別の事情がある場合を除き、次に掲げる基準により比較審査を行うものとする。

記

1 (略)

2 上記1の審査において同順位となった二以上の申請について更に比較審査を行う必要があるときは、次に掲げる基準への適合性その他放送の普及及び健全な発達への寄与の程度を総合的に勘案し、最も公共の福祉に適合するものを優先するものとする。

(1) **事業計画の确实性** (略)

(2) **表現の自由の享有** (略)

(3) **放送番組の多様性**

特別衛星放送全体として、放送番組の分野の特定分野への偏り及び放送番組の内容の他の放送番組の内容との重複の程度等を勘案し、より放送番組の多様性の確保に資するものであること。

(4) **広告放送の割合**

一週間当たりの放送時間全体における対価を得て行う広告放送(略)に係る放送時間の占める割合が3割を超えないこと(略)。

(5) **個人情報の保護**

放送受信者等の個人情報の保護に関する指針(略)に適合するものであること。

(6) **青少年の保護**

成人向け番組を含まないこと(略)。

(7) **視聴覚障害者への配慮**

字幕付与可能な放送番組に係る一週間当たりの放送時間全体における字幕を付与する放送番組に係る放送時間の占める割合が高く、かつ、解説放送を実施するものであること。(略)

(8) **放送番組の高画質性** (略)

3～6 (略)

衛星放送分野における今後の政策検討課題（例）

4. 表現の自由享有基準について

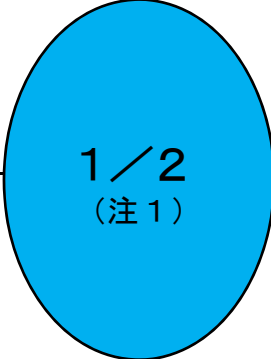
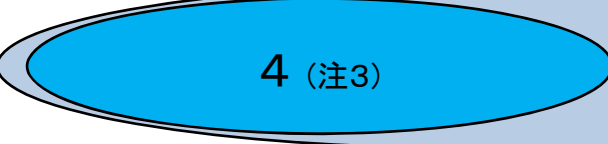
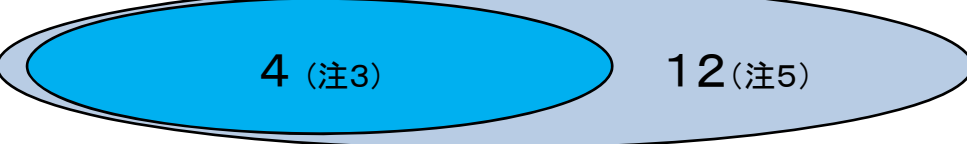
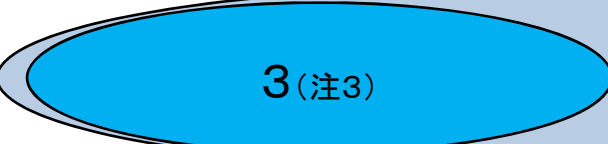
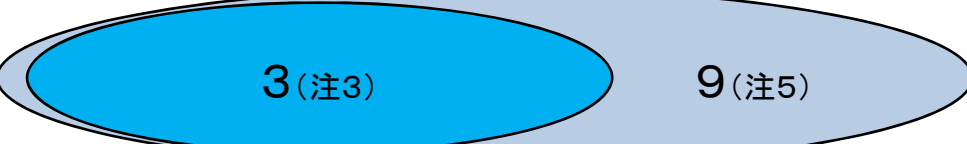
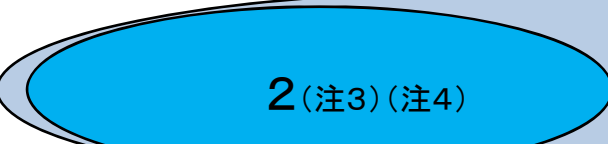
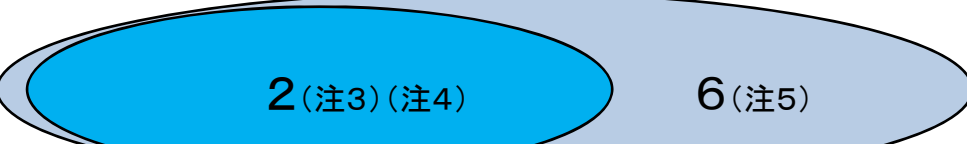
一般衛星放送について、いわゆるマスメディア集中排除原則を更に緩和（又は撤廃）することは適当か。

<備考>

- 他方、特別衛星放送に係るマスメディア集中排除原則の更なる緩和については、以下の観点をも踏まえつつ、より慎重な検討を行う必要があるのではないか。
 - ① 特別衛星放送については、既に約4割の世帯に普及しており、三波共用受信機の普及に伴い今後とも一般世帯への普及の拡大が見込まれていること。また、これに伴い、同放送への参入希望者が多いこと。
 - ② 平成23年以降、特別衛星放送用周波数が全体として24周波数まで拡大すること等を踏まえ、平成21年2月の総務省令改正により、1者が支配することができる周波数の上限を最大4周波数まで緩和したところであるが、同放送については、今後これ以上周波数が拡大する見通しが立っていないこと。
 - ③ 特に地上放送事業者による特別衛星放送への参入については、基幹的なメディアとして位置付けられ、地域社会を基盤として放送を行う地上放送と、準基幹的なメディアとして位置付けられ、全国を対象として放送を行う特別衛星放送とは、それぞれ異なるメディアとして多元性を確保しつつ発展していくことが期待されること。

衛星放送分野のマスメディア集中排除原則の改正のポイント(1/2) (平成21年2月総務省令等改正)

【改正前】一の者が支配することができる周波数の上限 (概要)

参入先 参入主体	BSデジタル放送	東経110度CS デジタル放送	東経124/128度CSデジタル放送		
			委託放送業務	衛星役務利用放送	
新規参入事業者 CS放送事業者 及びその支配関係者					
BS放送事業者 及びその支配関係者					
地上放送事業者 及びその支配関係者					

注1：BSデジタル放送への参入については、2分の1周波数（24スロット）以内であっても、高精細度テレビジョン放送と標準テレビジョン放送を同時に放送することは認められていなかった。また、超短波放送については24分の1周波数（2スロット）、データ放送については16分の1周波数（3スロット）が、それぞれ上限とされていた。

注2：地上放送事業者によるBSデジタル放送への参入は原則として認められていなかったが、経営基盤の強化等の観点から、例外的に、BSデジタル放送事業者の議決権の2分の1以下の議決権を保有することは認められていた。また、認定放送持株会社制度を活用することにより、2分の1周波数（24スロット）を上限として、1者に限り、BSデジタル放送事業者を支配することが認められていた。

注3：CS委託放送業務のうち超短波放送及びデータ放送への参入については、上記表の制限にかかわらず、それぞれ2周波数・1周波数が上限とされていた。

注4：地上放送事業者によるCS委託放送業務への参入は原則として認められていなかったが、事業の円滑な立ち上がり支援の観点から、例外的に、当分の間、2周波数まで支配することが認められていた。

注5：CS放送への参入については、申請者及びその支配関係者がそれぞれ使用する場合には合計12周波数（BS放送事業者の場合は9周波数、地上放送事業者の場合は6周波数）が上限とされていたが、申請者が単独で使用する場合には、8周波数（BS放送事業者の場合は6周波数、地上放送事業者の場合は4周波数）が上限とされていた。

衛星放送分野のマスメディア集中排除原則の改正のポイント(2/2) (平成21年2月総務省令等改正)

【改正後】一の者が支配することができる周波数の上限 (概要)

参入先 参入主体	特別衛星放送		一般衛星放送	
	BSデジタル放送	東経110度CS デジタル放送	委託放送業務	衛星役務利用放送
新規参入事業者 一般衛星放送事業者 及びその支配関係者	4		24	
特別衛星放送事業者 及びその支配関係者	4		24	
地上放送事業者 及びその支配関係者	× (注1) (注3)	2 (注2) (注3)	12	

注1：地上放送事業者によるBS放送への参入については、2分の1以下の議決権を保有することを引き続き容認。また、認定放送持株会社制度を活用することにより、2分の1周波数（24スロット）まで支配することも引き続き容認（者数制限は撤廃）。

注2：地上放送事業者による東経110度CS放送への参入についても、2周波数の特例を引き続き容認（放送の種類別制限は撤廃）。

注3：地上放送事業者による特別衛星放送への参入については、事業の円滑な立ち上がりの支援等の観点から、BS放送・東経110度CS放送それぞれについて、事業の立ち上がりの時期に一定の特例が認められた経緯があるところ、いずれ適切な時期にこれらの特例の評価を総括し、将来的に特別衛星放送全体として統一的な基準へと移行していくことが望ましいと考えられる。

※ 全体として、放送の種類別（高精細度テレビジョン放送、標準テレビジョン放送、超短波放送又はデータ放送の別）の制限、申請者が単独で使用する場合の制限、者数制限等はすべて撤廃。